

地域と共にある学校づくり

信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO. 11 (令和2年3月) 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

信州型コミュニティスクールの取組がスタートし7年目が終わろうとしています。北信地区では、国のコミュニティ・スクールを含め、すべての小・中学校で信州型コミュニティスクール（以下「信州型CS」）の仕組みが整い、各校ともコミュニティスクールの充実に向けて活動を行っています。第11号では、地域のコーディネーターが主体となって交流し、活動を推進している様子をご紹介します。



鬼無里小学校・中学校

「鬼ら里（きらり）カフェ」で和気あいあいと情報交換

■ 主体は地域のコーディネーターさん

鬼無里小学校・中学校は、平成30年度から「施設一体型の小中一貫教育」を進めています。9年間の学びの中で、地域の方々と共に学んでいくことを大切に考えて、学校も地域も「共に学び、共に元気に、笑顔になれるコミュニティスクール」をめざしています。

鬼無里小学校・中学校のコーディネーターさんは3名。学校運営委員の中から話し合いで決まった方々です。地域と学校を繋ぐために、コーディネーターさんが主体になって行っている活動の一つが「鬼ら里（きらり）カフェ」（交流会）です。

「鬼ら里カフェ」開催のお知らせも、学校名でなくコーディネーターさん3名の連名で出されています。お茶やお菓子も準備されており、学校のことや地域のことで話が進みます。

【交流会の様子から】

〇〇先生が、環境の話をしてほしいんだった。クラス単位でお話ししてもらえたら嬉しいっておっしゃってたよ。

もちろん、いいよ。クラスじゃなくても、個人で話したっていいくらい(笑)



よかった(^o^)
じゃあ、また先生と打合せしてくださいね。



ポイント

学校と地域を繋ぐ役割のコーディネーターを地域の方が務めているので、ボランティアさんの様子も分かって話し合いがスムーズです。その後の先生方との打合せにも繋がりがやすいです。



【他にもこんなお話が…】

畑の活動、もっと他の人も巻き込んでいけたらいいなあと思ってます。

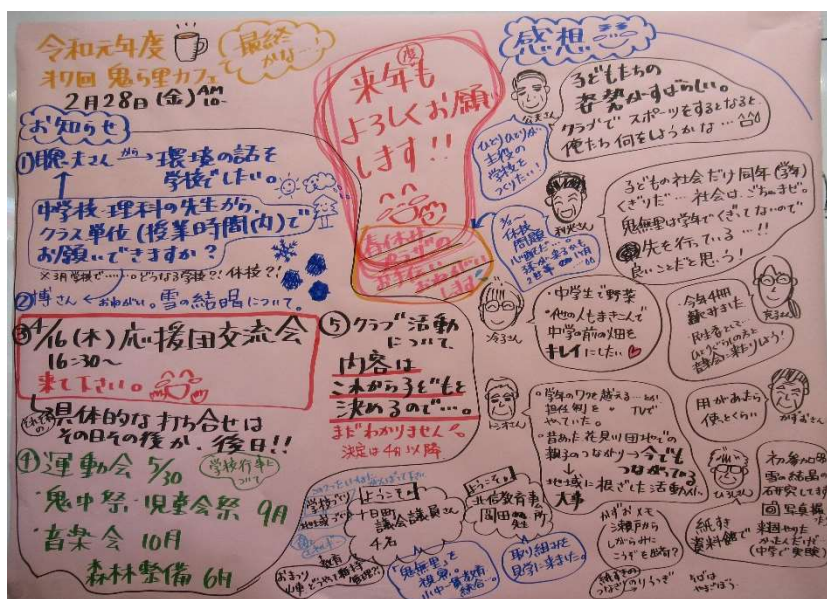
鬼無里は異年齢での関わりが多くていいなあと思ってます。先をいった活動ができているなと思います。

(休み時間に遊びに来ていた子ども達)
2時間目は、2つの学年で一緒に勉強したよ。

民生委員をしているので、学校の事も地域の事も考えちゃうんだよね。音楽会に、一人暮らしの〇〇さんをどう誘おうかな…



話し合いの内容も一目で分かる「模造紙の工夫」



ざっくりばらんな話し合いをコーディネーターの一人が、その場で模造紙にまとめていらっしゃる。毎回、このようにされているそうです。

一目でどんなお話しが出たのかわかります。会の最後には、模造紙を見ながら一年間の振り返りをしてもらいました。

ポイント

記録がみんなで見合えると、地域の方とも先生方とも、話合った内容が共有できます



コミュニティスクール充実の為の3つの視点

コミュニティスクールの取り組みを充実させていくために、学校・家庭・地域が連携していくことが大切です。その際に次の3つの視点について考えてみましょう。

1「学校と地域で目標やビジョンの共有」

全ての学校で、地域の方々と、どんな子どもを育てたいかという目標やビジョンを共有するための熟議を重ね、その上で協働活動をしていく。

2「地域住民による学校と地域をつなぐコーディネート」

地域にネットワークをもち、地域をよく知る地域住民にコーディネーターを担ってもらう。

3「地域住民等の緩やかなネットワークの形成」

学校と地域の願いを共有した協働活動を持続可能なものにするため、特定の個人に依存しない、地域住民・団体等が参画する緩やかなネットワークを整える。

地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。研修や実践をされる際、お気軽に連絡していただけたいと思います。

お問い合わせ先

北信教育事務所生涯学習課 ☎380-0836 長野市大字南長野南泉町686-1
Tel: 026-234-9552 E-mail: hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp